

---

# マジカルみかん

シンプソン

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

マジカルみかん

### 【Zコード】

N8811Z

### 【作者名】

シンプソン

### 【あらすじ】

「タツに似合ひ句かががんばります

「君はどれだけモノを壊せば満足するのかね」

「そつそんな、ワザとやつしたことなんて一回も・・・」

「ああ、悪かつたな。せめてこの学校最後の日くらいに優しくしないとな」

「えつ、校長先生、どうこう意味ですか」

「君は本当に鈍いなあ。一般学校に転校してもひつといつだよ」

みかんは、校長の顔を思い出して憎らしくなった。たしかに魔法学校で自分は多くの問題を起こしたらしく。主に器物破損である。らしい、と言つのは自分がモノを壊したときの記憶がスッポリ抜け落ちているのだ。

不幸中の幸いだったのが、転校を告げられたのが3月下旬だったことだ。4月のクラス替えからなら馴染むのも少しは楽だろう、とみかんは算段をたてていた。

そして、4月。

「みんな静かに、転校生のみかんさんだ」

「わあ、かわいい」

「ちつせー」

「あ、あ、あの、よびしくおねがいしまつ」

自分の舌ではないようだつた。登校中に舌にあれだけ覚えさせたのだった。

「なんかかわいくね」

「ちょっとな」

「じゃああそこの一一番後ろの席に座つて」

「ひやー」

「つだけ空いている席に腰かけると、早速隣の席の男子が話しかける。

「よろしくね」

「ひやー」

「・・・じゃあ、みんな揃つたといひでこのクラスの担任になつた」

ドガアアアアアアアン！――！

「校長、今さらですが、みかんさんの一般学校への転校の件、あれは適切だつたんでしょうか」

「ん、あの子は友だちが多こよつだつたからな。その子たちが騒いでいるのだろう」

「やはり、本校に留めるべきでしたか」

「いや、これでいい。魔法学校は、一般学校とは比較にならんほどの金を国から受けている。貴重な備品を壊されるわけにはいかん」「たしかにあの爆発は厄介ですね。緊張が極度に高まると、すぐ爆発。これでは対処しようもない」

教室の生徒全員が背後の爆発に振り返つた。みかんの席を中心に

爆発が起きたようだ。担任の先生が血相を変えて駆け寄る。みかんと隣の男子が倒れている。幸い、外傷は無いようだ。

「おい、大丈夫か」

男の子の肩を揺らす。

「つ、先生」

「どうした、いったい何があった」

「俺、みかんちゃんにかわいいね、って言つたんだ。そしたら顔が真つ赤になつて……」

「ああ、それで」

「あとは覚えてないです」

「みかんさん、みかんさん」

続いてみかんの肩を揺らす。

「ひや、ひやい。うわ、なんですかこれは」

「爆発が起きたんだ」

「また・・・。でも、きっと私が悪いんです。」めんなさい」

ガラツ

「ああ、遅かつたか」

教室にこの学校の校長が入ってきた。

「先生、みかんさんは緊張すると爆発するやつです。特に誉めると簡単にしてしまう」

男の子はギクッとして担任の顔を見た。自分が火付け役になつてしまつたと感じたのだろう。

「なに、お前が悪いわけじゃない。むしろ誰も悪くなんてない」

「先生、ありがとう」

担任は、うつむいて今にも泣き出しそうなみかんを何とかフォロ  
ーしなければ、と考えた。

「このぐらいの爆発がなんだ。みかんさんは、このクラスの一員だ。  
みんなで楽しくやつていこう。ただ、彼女を讃めちゃ黙目らしいぞ」

緊張していた場は、担任の一言によつて、少しだが落ち着いた。

ガラッ

「あれっ、なになに。校長先生まで来てるじゃん。まさか、俺の遅  
刻を怒りに？ そんなわけないか」  
お調子者の男子が堂々と遅刻してきた。

「先生、私はこれで」  
「あつ、校長先生、ありがとうございました」  
「えー、全然状況分かんないなあ。あつ、その子転校生？ かわいい  
ね」

「あつ」

(後書き)

最後までお読みいただき、ありがとうございます。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8811z/>

---

マジカルみかん

2011年12月27日19時50分発行